

第4回 官交 長官団

調査・管理運営部門の 事務運営にゆとりを!



発行所 東京都千代田区霞ヶ関 財務ビル内(〒100-0013) 全国税労働組合 発行人 山本 浩二 電話 (03) 3581-3678 FAX (03) 3507-0886 振替口座 00140-2-68514

“税務の職場” 何でも110番 zenkokuzei@aol.com 全国税は、職場で起こった問題を解決するため「税務の職場、何でも110番」を常時設置しています(電話とFAXは上記の番号までどうぞ)。

◇全国税ホームページ◇ http://www.kokko-net.org/zenkokuzei



長官団交で発言する阿部代表委員ら

5月23日全国税・沖縄全税支部協議会は、稲垣長官と4回目の交渉を実施しました。前号に引き続き、交渉内容を掲載します。

調査件数の削減を(協議会) 職場の実態を見ていく(当局)

協議会 通則法改正にもなつて、調査事案の処理に日数、期間が長くなる。今年の場合確定申告にも影響した。5点について改善を要求する。①1件あたりの日数を十分に取る②作成書類を簡素化する③決裁などの管理職の事務を簡素化する④手続き遵守のため十分な研修をすること⑤審理担当者を増員すること。 当局 ①計画策定にあたり、調査件数の削減は実情に即した弾力的運営を指示している。②書類の簡素化を図る。署長等が見直している。③負担軽減のため、自己研修や新たな従事者に対する研修を行った。④審理担当者の増員を図った。来年も増員を図りたい。

新人一律配置はやめよ(協議会) アンケートでは有意義(当局)

協議会 4月から6月にかけて管理運営部門の最繁忙期である。著書一体体制をとること。最低、相談業務、申告書作成は課税部門とすること。さらに、①国専1年目職員全員配属の見直し②管理運営部門職員の増員③相談業務の切り離し④研修の充実を実現すること。 当局 限られた人員の中で、全体として適切に運営されている。賦課部門と連携協力が図られていると理解している。

①国税専門官全員配置は、納税者対応、署の事務全般を覚えるうえで有る。 協議会 専科38期から一律配置が始まったが3か月サイクルで仕事が変わる。 協議会 専科38期から一律配置が始まったが3か月サイクルで仕事が変わる。 協議会 専科38期から一律配置が始まったが3か月サイクルで仕事が変わる。

給与と制度見直しに反対 (協議会) 特殊性は要望している(当局)

協議会 「給与の総合的見直し」を行わないよう関係機関へ働きかけると。 当局 閣議決定されており、見直しに意見を言えないが、職員の処遇に直結する重要な課題と考える。

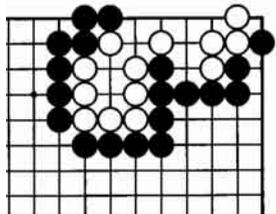


川嶋人事課長

非常勤職員の賃金・処遇改善を(協議会) 休暇制度改善は要望している(当局)

協議会 雇用の更新に当たっては、継続勤務希望者全員の希望を優先し、恣意的な雇止めを行わないこと。今年もいくつかの署で、雇止めを企図した動きがあったようだが、長年勤めている非常勤職員は戦力だ。 当局 非常勤職員も成績主義による能力の実証が求められるが、面接によつて出来る。当然に採用されるといふ期待を持たせてはならないというのが人事院の指針だ。

協議会 税務1・7を基礎とした時給単価に改善すること。 長官は人事院に処遇改善を要望されているが、行(一)ではなく一歩踏み込んでほしい。 協議会 賃金引下げはしないよう、働きかけてもらいたい。 当局 政府全体の問題だが、全国524署に散在する当庁の特殊性については、人事院に要望した。 協議会 諸手当の改善を図ってもらいたい。とりわけ、新幹線通勤など通勤手当について改善し、完全支給とすること。 協議会 公務の要請で遠距離通勤させているのであるから、必要な宿舎は確保している。 当局 宿舎使用料の引き上げについては、意見を言う立場にない。当庁で必要な宿舎は確保している。 協議会 平成26年4月から実施している宿舎使用料の値上げをやめること。あわせて、必要な宿舎が必要な場所に確保すること。 協議会 平成26年4月から実施している宿舎使用料の値上げをやめること。あわせて、必要な宿舎が必要な場所に確保すること。



詰碁 (出題) 九段 石樽郁郎 黒先 (ヒント) タメツマリにして仕留めます。(7分で二、三段以上)

今回は、復興特別法人税が廃止となった。復興はまたこれからの。足りない分の負担について結論の出ないうちに、大企業にはいい顔をする。こんなことで財政健全化ができると思えない。消費税率は来年10月には10%に引き上げられる。自分が子どものころ、「日本は累進課税方式をとっている」と授業で習ったように思う。それを先生が誇らしげに話していたことが印象的だった。最高税率はどんどんと下がり、広く薄くと言いつつ、低所得者から税金をむしり取る。金持ちはより金持ちに、貧乏人はより貧乏人に。こんなやり方に、税務職員としてやり切れない思いでいっぱいだ。余裕のある人が相応の負担を負うことが、正しい国家のあり方だと思う。

朴木書記次長

核兵器のない平和で公平な世界を 国民平和大行進 2014



夢の島公園を出発した東京地連の組合員

6月1日、国民平和大行進が北海道から青森へ進みました。私は6月4日の青森市浪岡、弘前市への行進と5日の弘前市役所前から秋田県境の矢立峠ま

8月に原水爆禁止世界大会が開催される広島市に向け全国から平和行進がスタートしています。

平和大行進、北海道から青森へ

の二日間を行進しました。4日の弘前市の解散地点で出迎えてくれた人がいました。その人に、北海道、東京コースの通し行進者の山内金久さんが、手を振って呼びかけています。なんと相手は私の高校時代の教師です。山内さんは東京都板橋区水協からの参加ですが同じ高校の三年先輩です。山内さんは、道内の自治体訪問をした感



多国籍税青森

お知らせ 7月の発行は25日号のみとなります。

6月4日

全国税、人事院交渉を行う

地域間格差導入反対、手当引き上げを要求

6月4日、全国税は、人事院と交渉を行い、人事院側からは職員福祉局・給与局鈴木参事官が応じました。



要求書を手渡す阿部委員長

とは妥当だと考える。全国税 地方から大ブーイングが起きている。考慮してほしい。

中・高年齢層下げやめよ 全国税 中・高年齢の職員数はピーク状態であり、5年前までは定年退職時にポストに就いていた職員は9割台であったが、年々率が低下し、現在は3分の2までに減少している。ほとんどが5級の最高号俸に達しており、昇給の見込みはない。その上、賃金が減らされる

給与制度の総合的見直し 全国税 公務員賃金を引き上げ消費拡大・景気回復につなげていくこと。反対に、賃金引下げとなる「給与制度の総合的見直し」は中止すること。人事院 「給与制度の総合的見直し」については、職員団体・関係者と意見を話していく。地域間格差は新たに検討する。

いる。納得できない。人事院 現在の地域手当は導入から8年たったので見直しの時期。支給要件を勤務地としているこ

低下する。人事院 民間を見ると、全体としてのバランスは取れているが、50歳代後半以降は、賃金が減らされる。再任用者の賃金については民間実態調査を踏まえ、年金支給が62歳からとなる平成28年度に向けて必要な検討を行う。

半に差があり、限界を超えているので検討する。全国税 住居手当など諸手当を改善すること。特に、通勤手当は高崎から長野に2年間通勤した職員の場合、106万円の持ち出しの例がある。職員に自己負担を強いることのないよう改善すること。また、地域手当は「異動保障」を3年とするよう改善すること。

人事院 「住居手当」「通勤手当」「地域手当」強い要望があることを承っておく。通勤手当については実感している。地域手当については、全体の枠の中で増やすところは増やし、減らすところは減らす。つまり大都市部などは増やし最低賃金の低い地域は減していく。異動保障についてはあり

方を検討していく。再任用者の給与引上げを全国税 雇用と年金の接続を確保するため、定年年齢を65歳とすること。また再任用職員の給与引上げ・処遇改善を図ること。今年から定年後の年金無支給期間が生じ、今後拡大していく。年金を受給しながら再任用というこれまでの状況は大きく変わった。再任用者の賃金を大幅に引き上げてもらいたい。

第72回定期大会告示

全国税労働組合「第72回定期大会」を次のとおり開催しますので、規約23条により告示します。

【日時】 2014年8月23日(土)～24日(日)
【会場】 ホテル機山館(きざんかん)
東京都文京区本郷4-37-20
TEL 03(3812)1211 FAX 03(3816)1218

- 【主な議題】
- ① 2013年度一般経過報告など
 - ② 2013年度決算報告
 - ③ 2014年度運動方針(案)
 - ④ 2014年度財政方針(案)
 - ⑤ 2014年度税研運動方針(案)
 - ⑥ 役員・中央委員の選出
 - ⑦ その他

全国税労働組合中央執行委員長 阿部 富次

再任用上席格付け要求実現

6月17日国税庁は、組合・職員に「今後の再任用について」を伝達しました。内容は、平成27年度以降、上席として再任用するといふものです。

このことにより多様な働き方が選択できますが、定員の枠内となるフルタイムを希望した場合、短時間再任用に変更させられることも想定されています。全国税は今後も希望がかなう制度実現を求めていきます。

近畿・兵庫県支部 復興特別所得税の是正事務が膨大で確定期後の事後処理が半端でない。税額百円以上の誤りについて全て直せとの号令で現場はてんてこ舞いだ。百円を是正するのに人件費を別に封筒代184円(案内文送付と修正送付用、電話代18円(2回架電)計202円と費用対効果を考えたら疑問が残るが間違いは間違いとして直さなければならぬ。納税者からも「25年といえは、死ぬまでとられるのか」との質問に、まさか「そうです」というわけにもいかず、「25年後は私も職場にはいません。多分この世にもいない」と心の中でつぶやくしかない。震災復興の目的はよくわかるし現場として税法に則ってやるのは当然だ。しかし、マスコミの話題は震災は過去のよう



新人125名 管理に一律配置!
【関信・埼玉支部】
6月18日に専科44期生125名が研修を終了し、各署に着任します。例年になく大量の専科生が各署に配置されるため、小規模署にも着任するようです。専科生には罪がありませんが、受け入れる管理運営部門は指導をどうするかで、すでに戦々恐々。一律配置では、2年以降の賦課・徴収事務の役に立たないとの声や、最初から番号を付け、OJTの一環として配置すべきだとの声も聞こえます。それでも、7月の定期異動で新メンバーになり、新しい自分の仕事をこなすだけで精一杯。ちゃんと指導も出来ず双方にとっても不幸です。

「第53回山の集い」へのお誘い

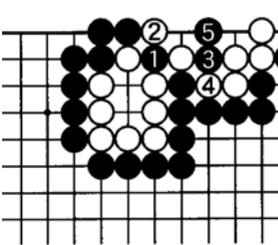
第53回山のつどいは、孤高の美しさと気品が心を打つ「越後富士」妙高山(2454m)、ゆったりした山腹で百花繚乱の湿原を抱く「花の火打」火打山(2462m)です。野趣あふれる野天風呂のある燕温泉を起点に越後の山々の静けさと素朴な人間性、湿原に咲く花々を堪能したいと思います。ぜひ、今年の夏休みの予定に取り入れてご参加ください。

- 日程 8月6日(水)～8月9日(土)
- 8月6日(水) 前泊(燕温泉 ホテル岩戸屋)
- 8月7日(木) 8時ホテル岩戸屋-天狗平-妙高山-黒沢池ヒュッテ-高谷池ヒュッテ
- 8月8日(金) 6時高谷池ヒュッテ-火打山(往復)-黒沢池ヒュッテ-黄金清水-燕温泉ホテル岩戸屋
- 8月9日(土) 解散
- 参加費 28,000円(往復の交通費は含みません)
- 申込み・お問い合わせは全国税本部まで。
- 申込み期限は7月10日。



妙高山全景

な雰囲気である。



詰碁
【解答】黒1が白をタメツマリにする好手。白2に黒3、5で白死です。黒1ですぐに3は白4黒5白1で失敗。黒1で5も白1で失敗です。